

ツーリズムが戻ってきた！

1. 海外から日本へ～大型クルーズ船の寄港が増加傾向！

- 今年の夏は猛暑となる中、日本人が海外へ旅行するアウトバウンドが復調する見通しです。一方、外国人が日本に旅行で来るインバウンドも堅調です。

<インバウンドは好調>

- 24年にクルーズ船で入国した外国人旅客数（訪日クルーズ旅客数）は前年比4倍の143.8万人でした。コロナ前のピーク水準は17年の252.9万人で、当時の約57%まで回復しています。

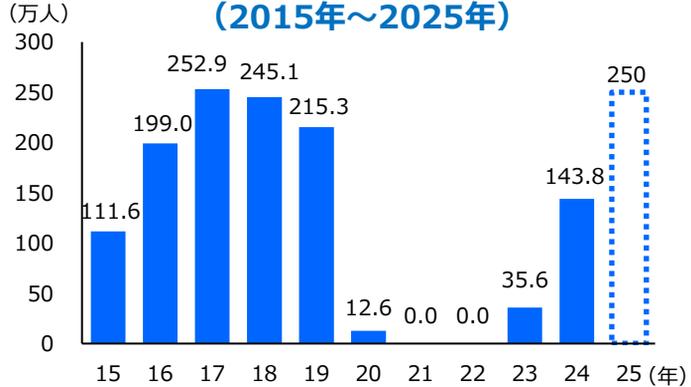
<大型クルーズ船の寄港も増加>

- 大型クルーズ船の寄港も増加中です。24年の寄港回数（外国船社、国内船社の合計）は2,479回と過去最多となった18年（2,930回）の85%まで回復しました。
- 特に注目は外国船社の寄港数の増加です。24年は1,923回と前年比約1.5倍となり、コロナ前のピーク水準（17年2,013回）の約96%まで回復しました。

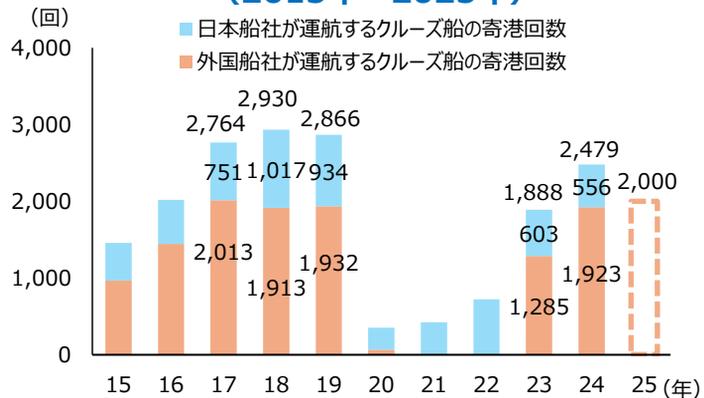
<ツーリズムが戻ってきました>

- クルーズ船の寄港回数は日本全体ではまだ復調の段階ですが、実は、過去最高を更新している都道府県、地域もあります。特に東北地方は外国船社が運航するクルーズ船が大幅に増加しており、25年も3年連続で過去最高を更新する見通しです。
- 25年は外国人旅客数、外国クルーズ船の寄港数ともに増加する見通しです。ツーリズムが戻ってきました。

クルーズ船で入国した外国人旅客数 (2015年～2025年)



クルーズ船の寄港回数 (2015年～2025年)

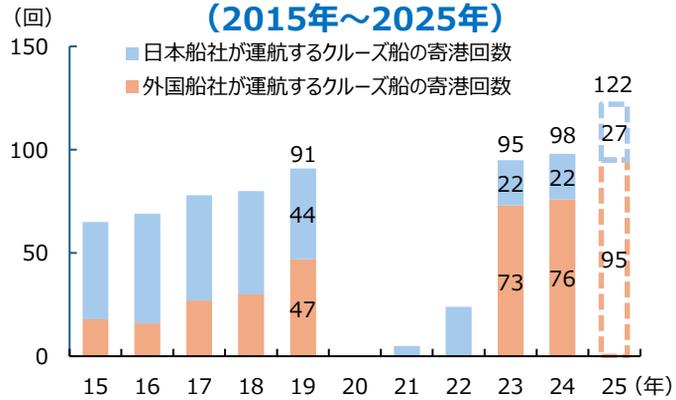


(注) 2024年は速報値。2025年は国土交通省の目標。

(出所) 上記2つのグラフは国土交通省の資料を基に

キャピタル アセットマネジメント作成

クルーズ船の寄港回数 (東北地方) (2015年～2025年)



(注) 2025年はクルーズ船の寄港予定回数 (2025年6月現在)。

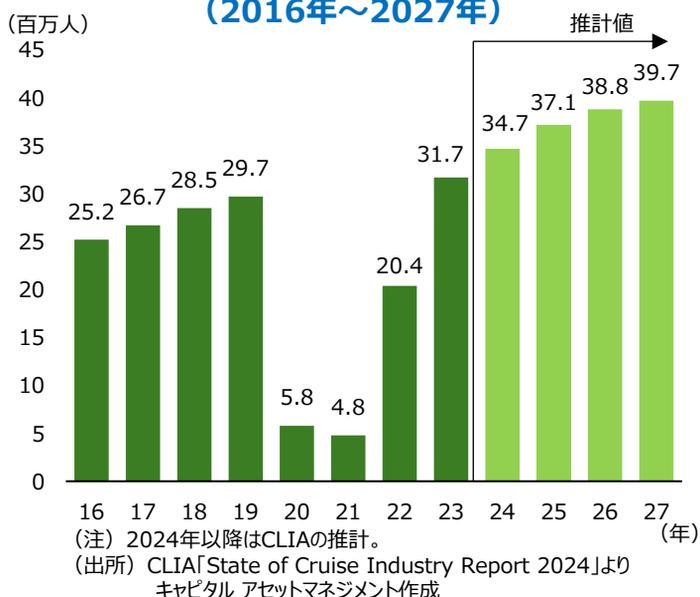
(出所) 国土交通省東北地方整備局港湾空港部の資料を基に

キャピタル アセットマネジメント作成

2. 世界でもクルーズ人口は増加する見通し 世界のクルーズ旅行の旅客数 (2016年～2027年)

■ 世界のクルーズ人口も拡大傾向を続けています。クルーズ旅客数は、23年時点でコロナ前水準の25%増と過去最高を更新しました。クルーズ旅客数は供給を上回るペースで増加し、27年には4,000万人近くに達する見込みです。

■ こうした事情を背景に、クルーズ船の世界全体のキャパシティ（ベッド数）も増加する見込みです。23年時点で65.6万ですが、28年には約14%増の74.5万に達する見込みです。



<参考> シニア層にクルーズ旅行が人気の6つの理由

| | | |
|--------------|--------|----------------------|
| 動くホテル | 荷物心配不要 | : 寄港地が替わっても荷造り・荷解き不要 |
| 移動の負担が少ない | 移動の快適性 | : 食事やエンタメを楽しみながら移動可能 |

身体的な負担が少なく、ゆったりと旅を楽しめます

| | | |
|-------------------|------------|-----------------------|
| たくさんのサービス | 医療体制の完備 | : 医師・看護師が常駐。緊急時も安心 |
| 安心・安全な環境と充実したサービス | バリアフリー対応 | : 新しい船はバリアフリー設計。移動が快適 |
| | きめ細やかなサービス | : 食事、清掃、エンタメ手配等、快適 |

健康面や安全面での不安が軽減され、心置きなく過ごせます

| | | |
|----------------------|--------|-----------------------|
| 多様なアクティビティ | 豊富な選択肢 | : ショー、カジノ、スパ等多彩な活動が可能 |
| 豊富なエンターテイメントとアクティビティ | 社交の機会 | : 交流イベントも多く、新しい出会いの機会 |

船内で退屈せず、自分のペースで楽しめる活動が豊富です

| | | |
|------------------|------------|---------------|
| 食事込み!! | オールインクルーシブ | : 予算管理が容易 |
| 食事の心配が不要で、選択肢が豊富 | 多様なレストラン | : 世界中の様々な味を堪能 |

食事の準備や費用を気にせず、美食を楽しめます

| | | |
|------------------|-----------|------------------|
| 目を覚ますと目的地 | 手軽な周遊 | : 複数の国や都市を効率的に訪問 |
| 複数の寄港地を効率的に巡れる | 計画の手間が少ない | : 交通・宿泊の手配が不要 |

多くの場所を訪れたいというニーズを手軽に満たすことができます

| | | |
|-----------------|-------------|-----------------|
| 洋上の豪華ホテル | 豪華な空間 | : 「洋上の豪華ホテル」を堪能 |
| 非日常感とリラックスできる時間 | ゆったりとした時の流れ | : マイペース |

心身ともにリフレッシュし、質の高い休息が得られます

(出所) 各種情報を基にキャピタル アセットマネジメント作成

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社 (CAM) が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAMが運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。